実績抽出・集計機能 result_recordTimeEntries (start, end, sheetName) ・実績抽出開始日 ・終了日 ・シート名(実績) それぞれ入力する。 ・カレンダーから実績(events)取得 ・イベントリストの、 各イペントについてループをイベント リストの要素数分だけ実行する。 i = 0; i < events.length; i++ もし、タイトルにコロン' : 'または'移動'の 文字列があったら YES ・イベントにかかった時間を計算する。 NO もしタイトルにコロン': が1つ以上かつ コロンで分割後の 要素数の数が2つ以上の場合 YES ・タイトルに'移動'の文字列が含まれて いたら ・イベントのタイトルを,区分1 区分2、そして区分2以降の部分を表す ノートに分割して格納する。 YES ・区分1に移動を設定する。・区分2を空白に設定する。・3つ目以降の要素をノートに格納 もし区分2が空白だったら YES ・区分2の空白を、値として使用できるようにするため、アスタリスク・・・に置き換える。 ・区分1、区分2をキーとしてデータを累積する NO もし実績を格納しているデータに キーが存在しない場合 YES イベントの開始時間
イベントの終了時間
区分1、区分2
時間の累積データ
これらを格納する配列の作成。 ・イペントの開始日から経過した日数を取得・取得した特定の期間をデータの累積加算する。 ループ処理終了 ・キー(区分1、区分2と対応する値)に対してループ開始。 NO もし区分2が空白だったら YES ・区分 1 が一致するものを全てスケジュールに加算する。 もし区分 1 が同じで区分 2 が空白以外だったら NO YES ・同じ区分 1 の値を持ち、 区分 2 が空白ではないデータに対してのループ処理 ・合計時間に対象のデータのイベントに かかった時間を加算する ループ処理終了 ・合計時間を元のデータのイベントにかかった時間 に加算する。 ループ処理終了 ・スプレッドシートの実績シートを取得 ・区分 1 、区分 2 、合計のヘッダー行を設定 ・日数分のループ処理 i = 0; i < maxTimeld; i++ ・ループ処理。 ・列番号はstartColから始まる。 startCol = 4 col = startCol ;;col++ NO もしヘッダー行が空白のとき YES ・空のセルの後に新しい列を挿入・挿入された新しい列の1行目に計算された日付を スプレッドシートの書式に合うように設定。 ・日付の一致が満たされたら無限ループを終了。 ・各キー(区分1、区分2)ごとに 反復処理を行う。 データがない場合、追加するための 新しい行を探し続けるルーブ処理をする。行番号はstartRowから始まる。 startRow = 2 var row = startRaw;;row++ NO もしヘッダー行が 空白だったら YES ・スプレッドシートの空白の行に1行追加する。・新しい行の1列目に区分1の値を書き込む。・新しい行に区分2の値を2列目に書き込む。 ・スプレッドシートの新しい行の1列目(row行目)に 区分1の値を書き込む。 ・スプレッドシートの新しい行(row行目)の2列目に 区分2の値を書き込む。 ・スプレッドシートの新しい行(row行目)の3列目の セルにD列の合計を書き込む。 ・新しい行を挿入するたびに、その行のD列の合計 を計算し、3列目に表示する。 ・イベントにかかった時間の配列の各要素を、スプ レッドシートの新しい行(raw行目)の新しい列(col列) に順番に書き込む。 ・新しいデータを追加した後、ブレークして ループ処理終了 NO もしスプレッドシートのrow行目に 既存のデータが存在し、 かつ区分1、区分2とデータが一致したら YES ・値の更新をする。 すべてのオブジェクトに対し 処理終了で、ループ終了。 日数分終了するとループ処理の終了

終了

NO